

令和 7 年度 世界遺産沖ノ島検定 上級検定

問題・解答

主 催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

大問 1 (文章問題)

※20 点満点

以下の文章を読んで、問 1～5 に答えなさい。

「神宿る島」沖ノ島は、^(a) 航海安全のための祭祀が執り行われた島で捧げられた、多様な来歴をもつ豊富な出土品によって、^(b) 4 世紀から 9 世紀の間の東アジアの国家間の重要な交流を示している。^(c) 奉獻品の配置や祭場構成の変化は祭祀の変遷を証明し、それはまた、アジア大陸、朝鮮半島、日本列島を拠点とする国々がアイデンティティの感覚を発達させた時期に起こり、^(d) 日本文化の形成に本質的に貢献した活発な交流の過程の性格を反映するものである。

問 1 下線部 (a) について、沖ノ島で国家的祭祀が行われ始めた 4 世紀後半頃の船はどのようなものだったか、簡潔に説明しなさい。(配点：5)

(縄文時代以来の) 丸木舟の両舷(両側)に、(高い) 板を貼りつけて波よけとした準構造船。力は手漕ぎで、大型化には限界があった(あまり大きくなかった)。

問 2 下線部 (b) について、当該期の中国大陸と朝鮮半島の王朝・国家の変遷について、簡単に説明しなさい。(配点：6)

中国では、(西晋から分裂して) 南北朝時代となり、6 世紀末 (589 年) に隋が再び中国を統一したが、まもなく (618 年) に唐に代わった。朝鮮半島では、高句麗・新羅・百済 (と加耶諸国) に分かれた (三国時代と呼ばれる) 時代だったが、(加耶諸国は百済と新羅に併合され、) 7 世紀に百済と高句麗が滅亡し、新羅によって統一された。

問 3 下線部 (c) について、沖ノ島祭祀遺跡の奉獻品とそれが出土した祭祀遺跡の分類の組み合わせとして間違っているものを以下のア～エから 1 つ選びなさい。(配点：2)

ア、鉄鋌 — 岩上祭祀遺跡

イ、金製指輪 — 岩陰祭祀遺跡

ウ、カットガラス碗片 — 半岩陰・半露天祭祀遺跡

エ、奈良三彩小壺 — 露天祭祀遺跡

問 4 下線部 (d) について、沖ノ島祭祀遺跡の奉獻品には伊勢神宮の神宝との共通性をもつものがあるが、そのような奉獻品が登場する時期（年代）と、その意味するところを説明しなさい。(配点：4)

7世紀前半（岩陰祭祀）もしくは7世紀後半（半岩陰・半露天祭祀）。
現在まで続く日本固有の信仰（神道）における祭祀の基盤となった古代国家（律令国家）によるまつりの形（神祇祭祀）が、この頃に（中央で）
確立されたことを示す。

問 5 この文章は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の「世界遺産一覧表に資産を登録する場合の評価基準」のうち、どの文章にあたるか、以下から選びなさい。(配点：3)

ア、評価基準 (ii) イ、評価基準 (iii) ウ、評価基準 (vi)

大問2（文章問題） ※20点満点

以下の文章を読んで、問6～12に答えなさい。

宗像地域には、4世紀から7世紀にかけて築かれた約 **A** 基もの古墳があり、その多くは入海に面した台地や丘陵上に位置しています。^(a)特に西の福津市側には、5世紀以降、宗像氏の首長墓が勝浦潟に沿うように連綿と築かれ、北部九州を代表する古墳群の一つである ^(b)津屋崎古墳群を形成しています。入海に突き出るような台地上に築かれた ^(c)新原・奴山古墳群はその一部です。かつてこの海域を行き交った船からもこれらの古墳群はよく見え、地域を支配した宗像氏の存在を象徴するランドマークとなっていたことでしょう。

勝浦潟は、^(d)塩田や農地とするために大部分が江戸時代までに干拓されましたが、現在も広大な田園風景が往時の面影を伝えています。また、かつての入海のラインに沿って、 **B** 石が今でもいくつか残されています。

問6 文中の **A** に入る数値として適切なものを以下のア～エから選びなさい。（配点：2）

ア、280 イ、560 ウ、2800 エ、5600

問7 文中の **B** に入る語は何か、記しなさい。（配点：2）

{ **船つなぎ** } ※「船」は「舟」、「つなぎ」は「繋ぎ」でも可。

問8 下線部 (a) について、福津市側に移る以前、4世紀後半に現在の宗像市の内陸部に築かれた全長64mの前方後円墳の名称を記しなさい。（配点：2）

{ **東郷高塚古墳** }

問 12

この文章に関して、宗像市側にも存在したと想定されるかつての入り海と宗像大社辺津宮との関係や、その変遷について論じなさい。(配点：5)

現在の釣川が古代には入り海であった。辺津宮は『日本書紀』(第三の一書)において「海浜」とも記されているように、入り海(海)に面していたと考えられる。かつては釣川のある境内東側から本殿に向かう参道があった。入り海は縄文時代には現在の宗像市中心部まで入り込んでいたとみられるが、(気候変動による)海面の低下や河川の堆積作用、それに伴う農地開発などにより次第に陸地となっていた。辺津宮の位置する場所(宗像山の丘陵とその麓)は入り海に突き出るような地形をしており、釣川の上・中流域と下流域・海域とを結ぶ結節点であった。

大問 3 (文章問題) ※20 点満点

以下の文章を読んで、問 13～20 に答えなさい。

(a) 「みあれ祭」のルーツである中世の **A** では、春夏秋冬の年 4 回、沖ノ島の竹で作った長い旗竿を島の神 (**B** 神) の象徴として、沖津宮を本社とする (b) 辺津宮第一宮 に迎え入れました。江戸時代にも、沖津宮の祭祀を司っていた (c) 大島の **C** 河野家 が、(c) 年に二回沖ノ島に渡島して例祭を行っていました。「みあれ祭」は、こうした三宮一体で沖ノ島への信仰を伝えてきた宗像大社の伝統に基づくもので、**D** 年から行われています。

問 13 文中の **A** に入る語は何か、記しなさい。(配点：2)

{ **御長手神事** }

問 14 文中の **B** に入る語 (神名) は何か、記しなさい。(配点：2)

{ **田心姫** }

問 15 文中の **C** に入る語として適切なものを下記のア～エから選びなさい。(配点：2)

ア、一ノ甲斐 イ、二ノ甲斐 ウ、三ノ甲斐 エ、島守

問 16 文中の **D** に入る数 (年) を下記のア～エから選びなさい。(配点：1)

ア、1922 イ、1942 **ウ、1962** エ、1982

問 17 下線部 (a) について、現在の「みあれ祭」における三女神の「御霊」の動きについて、祭りの準備段階から簡潔に説明しなさい。(配点 : 5)

沖津宮の御霊(田心姫神)は事前に大島の氏子たちによって沖ノ島から大島(中津宮)に迎えられる。10月1日の海上神幸によって沖津宮(田心姫神)と中津宮(湍津姫神)の御霊が、大島から神湊まで運ばれ、本土の神湊で辺津宮(市杵島姫神)の御霊と合流し、辺津宮へ向かう(陸上神幸)。

問 18 下線部 (b) について、辺津宮第一宮は中世には「惣社」とも称されていたが、それはなぜか。その理由(意味)を記しなさい。(配点 : 3)

第一宮には沖ノ島の神(田心姫神)を中心に三女神を合わせ祭っていて、当時の宗像社における(第一宮・第二宮・第三宮のなかでも)信仰の中心(拠点)的存在だったから。

- 問 19** 下線部 (c) について、江戸時代、藩命により沖ノ島に渡った青柳種信は、神事のために沖ノ島に赴いた神職の様子も含め、島内の様子を鮮明に書き残している。その書物の名称は何か、空欄の中に漢字一字ずつ記しなさい。
(配点：2)

『瀛津島 **防** **人** **日** **記** 』

- 問 20** この文章について、中世や近世に沖ノ島に渡って行われた神事については、祭日がはっきりとは定まっていなかった。それはなぜだと考えられるかを述べなさい。(配点：3)

(当時の航海技術では) 沖ノ島への渡島は天候・海の状況に左右されるので、特定の日取りに固定することが不適當だから。

大問 4 (図版問題) ※20 点満点

図を見て、問 21～25 に答えなさい。



(A)

問 21

(A) の図は沖ノ島祭祀遺跡中のある遺跡の発掘調査時の写真である。この遺跡は何号遺跡か。また、この写真をもとに遺物の出土（検出）状況を説明しなさい。（配点：5）

この遺跡は 17 号遺跡で、岩上に位置する（岩上祭祀遺跡である）。
21 面もの銅鏡が、巨岩の岩の隙間に全て上向きにして（鏡面を上にして）重ねて納められていた。
鏡の多さは祭祀へのヤマト王権の関与を物語っている。
ほかに鉄剣や勾玉などもみつかっており、当時の古墳の副葬品と共通性をもつ。「鏡・剣・玉」の組み合わせは日本神話の三種の神器に一致する。



(B)



(C)

(図の縮尺は任意)

問 22

(B) の図は沖ノ島祭祀遺跡の奉獻品であるが、この奉獻品の名称と、その本来の使用方法について説明しなさい。(配点：各2、計4)

名称〔 **金銅製龍頭** 〕

使用方法

〔竿(棒)の先に付け、龍の唇(口)の孔(穴)から出た金具に幡(はた)や笠(天蓋)などを吊り下げる。〕

問 23

(C) の図は大島御嶽山遺跡の発掘調査で出土した遺物で、沖ノ島祭祀遺跡のある奉獻品との共通性が指摘されている。その奉獻品の名称を正しく記しなさい。(配点：3)

〔 **金銅製雛形五弦琴** 〕



(D)



(E)

問 24

(D) の図の文化財の名称を答えよ。また、この文化財はその背面の銘文から、1201 年に辺津宮のなかのある宮に奉納されたことが分かる。それはどこか記しなさい。(配点：各 2、計 4)

名称 [宋風獅子 (石製狛犬)]
 奉納先 [第三宮]

問 25

(E) の図は宗像大社中津宮の境内模式図である。図中の①・②に入る地点もしくは施設の名称をそれぞれ記しなさい。(配点：各 2、計 4)

① [天の真名井]
 ② [織女社]

大問 5 (単答問題)

※20 点満点

以下の問 26～35 に答えなさい。

問 26 沖ノ島や宗像大社に関する遥拝の習俗についての説明のうち、明らかに間違っているものを一つ選びなさい。(配点：2)

- ア、大島の漁師の妻は、沖ノ島で漁をする夫の無事を願い、沖津宮遥拝所から祈りを捧げていた。
- イ、福津市の手光という集落では、かつて疫病が流行した際、沖ノ島が見える峠に遥拝所を設けて祈りが捧げられた。
- ウ、北九州市の若松区小竹の白山神社近くには、沖津宮遥拝所址とされる石の祠が残されていて、かつてはここから沖ノ島が見えたとみられる。
- エ、大島の宮崎という地区にも、かつては沖ノ島に対する遥拝所があった。

問 27 江戸時代、第6代福岡藩主黒田継高が福岡城の近くに沖ノ島に対する遥拝所を設けたという記録がある。それはどこに位置していたか、記しなさい。(配点：2)

{ 荒津山 (荒戸山・西公園) }

問 28 以下の日本の世界遺産の中から、構成資産内に世界遺産としての価値に密接に関係する「遥拝所」が含まれるものを一つ選びなさい。(配点：2)

- ア、富士山
- イ、平泉
- ウ、紀伊山地の霊場と参詣道
- エ、百舌鳥・古市古墳群

問 29 宗像市神湊に所在する貝塚で、近年発掘調査が行われ、5 世紀中頃から 6 世紀代を主体とする海浜集落の存在が明らかとなった遺跡の名称を記しなさい。(配点：2)

{ 浜宮貝塚 }

問 30 韓国の全羅北道扶安郡の辺山半島にあり、沖ノ島と類似した古代の祭祀遺跡として比較されることの多い遺跡の名称を記しなさい。(配点：2)

{ 竹幕洞祭祀遺跡 } ※竹幕洞(遺跡)でも可。

問 31 石川県輪島市の沖合約 50km に浮かぶ孤島で、鐘崎海人が移住し宗像三女神をまつる神社があることで知られる島の名称を記しなさい。(配点：2)

{ 舳倉島(へぐらじま) }

問 32 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録までの出来事を記した以下のア～エを時系列順に並び変えなさい。(配点：2)

ア、福津市のカメラアステージ歴史資料館、宗像市の大島交流館がオープンする。

イ、文化審議会が「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を推薦案件に選定する。

ウ、「海の正倉院・沖ノ島～いま甦る太古のロマン」と題するシンポジウムが地元で実施される。

エ、海の道むなかた館がオープンする。

{ ウ → エ → イ → ア }

問 33 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録された際の文化庁長官の氏名を以下のア～エから選びなさい。(配点：2)

ア、青柳正規 イ、都倉俊一 **ウ、宮田良平** エ、近藤誠一

問 34 宗像市の世界遺産ガイダンス施設「海の道むなかた館」において、展示されていないものは次のうちどれか、一つを選びなさい。(配点：2)

ア、景観マッピングビジョン イ、大型スクリーン
ウ、沖ノ島祭祀遺跡奉獻品レプリカ **エ、沖ノ島祭祀遺跡ジオラマ**

問 35 沖ノ島祭祀遺跡を精巧に再現した実寸大ジオラマの展示が行われている、千葉県佐倉市にある博物館の名称を記しなさい。(配点：2)

{ **国立歴史民俗博物館** }